

第1回 CCPS実行委員会

2017年3月2日

本日のAgenda

1. 鈴木先生ご挨拶
2. 各委員の紹介（自己紹介）
3. CCPSとは（おさらい）
4. グローバルサミット岡山の開催の意義と推進体制
3. 運営委員会での協議状況
4. 学術委員会での協議状況
5. 実行委員への依頼事項
6. 今後の予定

CCPSとは

正式名称: Center for Chemical Process Safety

(AIChE(米国化学工学会)の一部、非営利団体)

設立: 1985年 --- インド ボパール化学工場の事故の翌年

設立目的: プロセス安全に関する最先端技術や手法の開発・改善
プロセス安全情報の提供などによる化学プロセス事故の防止

性格: グローバルに展開する安全技術研究団体(世界で199社入会)

活動: 各種プロジェクトの遂行および成果の提供(常時20以上のWG活動)
各種図書の出版(→各種プロジェクトの成果物)
事故情報データベース(PSID)の提供 等

日本企業: 三菱化学、出光興産、東燃ゼネラル石油 が入会

第4回CCPSグローバルサミット日本開催について



1. 日本開催の目的

海外、我が国の重大事故事例から、プロセス安全の重要性が増しており、これらに関わる国際的な学術・技術会議であるCCPSグローバルサミットを日本で開催し、我が国、アジア、米国、欧州などからの技術者・研究者が自由かつ活発な意見・技術・情報交換を行う事で、我が国のみならず世界のプロセス安全のレベル向上をはかる。

特に、本サミットでは、我が国が持つ安全技術・安全文化を全世界に発信すると共に、海外からの各種技術・情報を積極的に取り入れることにより、我が国のプロセス安全技術が世界トップとなる機会となる。

また、若手研究者・技術者が、世界場で発表・討議を行い、人的なネットワークの形成、討議などによる成長の機会を作る。

(過去の開催経緯)

第1回	2014年12月15日～16日	インド、ムンバイ
第2回	2015年11月 3日～ 5日	マレーシア、クアラルンプール
第3回	2016年12月 4日～ 5日	サウジアラビア

2. 開催時期

2017年 9月12日(火)～13日(水)の2日間

なお、 11日(月):ワークショップおよびウエルカムレセプション
12日(火):カンファレンスディナー を予定

3. 開催場所

岡山コンベンション センター

第4回CCPSグローバルサミット推進体制

Executive Committee;
代表委員会(日本+CCPSで構成)
＜会議の方針決定機関(テーマ、招待講演、資金計画等)＞

安全工学会; 藤原副会長

CCPS; Shakeel Kadri

旭化成、出光興産、東燃ゼネラル、JXエネルギー、住友化学、三井化学、三菱化学、安全工学会

Technical Committee;
学術委員会(日本+CCPSで構成)
＜発表論文の査読・採択の判断＞

安全工学会; 新井会長

日本側; 安全工学会、化学工学会、
企業技術者で構成

Administrative Committee;
実行委員会(日本側で構成)
＜会議への参加、論文発表、資金援助の働きかけ＞

(主) 安全工学会; 鈴木副会長、
(副) 安全工学会; 藤原副会長、三菱化学 植田常務

旭化成、出光興産、JSR、住友化学、東燃ゼネラル、日本触媒、日本ゼオン、
昭和電工、三井・デュポンポリケミカル、デンカ、東ソー、新日鉄住金化学、トクヤマ、
クラレ、三菱ガス化学、丸善石油化学、三井化学、三菱化学、コスモ石油、
千代田化工建設、アズビル、日揮、東洋エンジニアリング、新コスモス電機、
横河電気、太陽石油

Secretary; 運営委員会
＜準備委員会機能、各委員会補佐＞

安全工学会; 湯本氏(事務局)、出口氏(三井化学)

安全工学会(岡山大学鈴木研 麓)、旭化成、出光興産、東燃ゼネラル、三菱化学、石化協

1. 岡山会場の概要

2. 当日のスケジュール、プログラム案

3. 共催、後援、協賛の状況

4. 協賛会社への特典について

ロゴの掲載(予稿集、Web.、フライヤー、ポスター等)
展示ブースの提供
予稿集への広告掲載

5. 有料ブースの設置について

展示即売、PR等にも使用してもらう。(提案書別途)

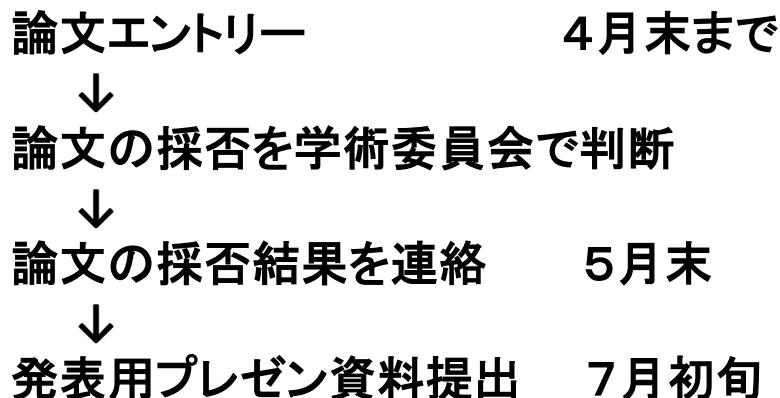
1. 論文のカテゴリー(発表テーマ案)について

- vision20/20の内容、日本側からの提案内容
- その他の安全に関する論文で日本の活動を発信。
現場の泥臭い活動もOK

2. 発表のイメージ

- 1コマ30分(質疑/応答込)、15分のショートプレゼンも採用予定
- 発表は日本語でもOK(同時通訳あり) 等

3. 論文募集要項



4. 予稿集の作成について

実行委員への依頼事項

1. 論文(発表)に積極的に参加して頂きたい。

実行委員会メンバー会社より、各社2～3件をお願いします。

各社のPRも含めて、現場の泥臭い活動もOK

2. 会議への多数の参加をお願いします。(目標参加者:200名以上)

参加費用

	(7月末までに登録)	(8月以降~当日申し込み)
会員	50,000円/名	60,000円/名
一般	55,000円/名	60,000円/名
学生	20,000円/名	25,000円/名

(9/11夜のウエルカムレセプション、9/12夜のカンファレンスディナー
9/11、12両日の昼食、コーヒブレイク代を含む価格です。)

3. 色々な所で本サミットをPRして頂きたい。

パンフレット・ポスターを活用。

(安全工学会や化学工学会等の各セミナーでもPRする予定です)

4. 資金計画に御協力願う。

一口 30万円 何口でもOK

今後の予定(1/2)

1. 代表委員のロゴ入りフライヤー作成

3月末のCCPS国際会議で配布予定

2. ポスター作製

英語版はCCPSのHPに掲載

日本語版は4月の早い時期に作成し、安全工学会HPに掲載

3. 発表プログラム(案)公表 6月初

これを受けて、**6月初旬に第二回実行委員会を開催する予定**

4. 参加登録開始 4月中旬

8月以降(当日も)の申し込みは6万円/名となりますので、ご注意ください

5. PR(紹介)予定

3月 化学工学春季発表会

7月 安全工学シンポジウム 他

6. 安全工学会HPへ掲載 3／10迄

- ・日本語での案内
- ・CCPSホームページへのリンク
- ・第一回実行委員会での説明資料(改訂版)
- ・論文募集要項(テンプレート等)
- ・相談窓口 等

<その他>

- * 招待講演やパネルディスカッションテーマ等に関する
各位のご提案・ご希望をお聞かせ頂ければ幸甚です。
(可能な限り、プログラムへ反映させるつもりです。)